

21COE 特別講演会 報告書

工学研究科 合成・生物化学専攻 浜地 格

集会名： Prof. Lars Baltzer 21COE 特別講演会

日 時： 平成 18 年 11 月 9 日（木）16：00～17：00

場 所： 化学系講義室 2（京大桂キャンパス A2 棟 3 階 303 号室）

総参加者概数： 約 63 名

主な参加者： 木村俊作、浜地 格 王子田彰夫

講演内容： Baltzer教授は、ペプチドのデノボデザインの専門家で設計されたペプチドを用いた人工酵素触媒やタンパク質間相互作用を制御できるミニタンパク質の創製を積極的に行なっている。講演では、特に最近力をいれている特定タンパク質の表面を認識するミニタンパク質のデノボ設計に関して、その合成から結合特性、血清中のバイオマーカータンパク質の検出などの応用までの広い展望を講演された。大学院生を含めて活発な質疑討論が繰り広げられた。

